

今回は、「仕事の誤解」という小冊子からです。

×口うるさい管理者はうとましいと思うのは誤解だ！

あなたが、どこの会社に勤めたとしても、自分を管理し、コントロールする管理者はいる。その**管理者と波長が合い、アウン呼吸で仕事を進めていけたり、心底から尊敬できる人と出会えたら、それはそれでたいへん幸運である。しかし、そんな管理者と出会えることはめったにないのが現実だ。**ほとんどの管理者は、自分の仕事の処理をすることが手一杯で、部下への配慮をする余裕がない。だから確かに、あなたの仕事の進め方を十分に分かっていないで、場違いな指摘や指導をしてしまうこともあるだろう。しかしだからといって、その管理者のすべての仕事姿勢に問題があるかということ、決してそうではない。

※ 厳しさの中で鍛えられよ

苦手な管理者が上司になったとき、あなたはどうかかわってあげたいだろうか？細かいところまでいちいち指摘する口うるさい管理者タイプだとしたら、むしろその指摘を感謝すべきである。細かいことは、社会人になるほど、他の人は遠慮して指摘してくれないのだから。また、誰が見ても厳しすぎるような管理者のタイプだとしたら、その管理者の下で働けることを幸運と思わなければならない。厳しいかもしれないが、あなたは成長できるのだから。**やはり物事は考え方ひとつだ。自分の成長に有利になる方向へ解釈することがあなたを成長させる。**

※ やはり学ぶ姿勢が一番だ

大企業と違って中小企業では、部署も社員も少ない。だから、あなたは生涯にわたって、その管理者と仕事を一緒にすることになる可能性もないとは言えない。しかし経験・年齢とともに、考え方や接し方は、管理者もあなたも共に変化していくものだ。時には理不尽な叱責も受けることがあるかもしれないが、そこから学ぶ姿勢があったら、あなたは確実に成長を遂げていくはずだ。**自分の苦手な管理者のタイプに評価されるようになったら、あなたはビジネスマンとしてのレベルは、かなり上がっていると思っ**ていい。

どんな管理者に合えると幸運だと言っていますか？

()
カッコ内を埋めてください

やはり物事は () ひとつだ。自分の成長に () になる方向へ ()
することがあなたを成長させる。

苦手な管理者に評価されるようになったら何と思えばいいですか？

()